

# 特定非営利活動法人ほっとはあと定款

## 第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人ほっとはあとという。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を岡山県総社市に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、子どもたちの健全な育成に関する事業を行うと共に、発達障害児者や知的障害児者の自立的でより豊かな生活づくりとそれを支える地域への障害児者に関する啓発を行い、すべての子どもたちが生き生きと心豊かに成長できる環境、地域をつくり、地域社会に貢献できる子どもの育成に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 環境の保全を図る活動
- (5) 地域安全活動
- (6) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (7) 子どもの健全育成を図る活動
- (8) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 特定非営利活動に係る事業
  - ① 子育て支援拠点事業
  - ② 障害児通所事業
  - ③ 発達障害に関する啓発事業
  - ④ 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業
  - ⑤ その他目的を達成するための事業

## 第3章 会 員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の4種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の事業に賛助するため入会した個人及び団体
- (3) 一般会員 この法人の目的に賛同して事業に参加するため参加した個人
- (4) 学生会員 この法人の事業に賛助して入会した、学生等

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

- 2 会員として入会しようとする者は、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 3 理事長は、前項の者の入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、理事会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(拠出金品の不返還)

第12条 既納の入会金、会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

## 第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上10人以内
  - (2) 監事 1人以上2人以内
- 2 理事のうち、1人を理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、理事会において選任する。

- 2 理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 理事長以外の理事は、この法人の業務について、この法人を代表しない。
- 3 理事は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 4 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 5 監事は、次に掲げる職務を行う。
  - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
  - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
  - (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
  - (4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。
  - (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

(顧問)

第16条 この法人は、理事長の要請により顧問を置くことができる。

- 2 顧問は理事の要請により助言を行なうことができる。

(任期等)

第17条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を延長する。

3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第18条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第19条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、理事会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

(1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第20条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

役員の報酬については理事会にて決定するものとする。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前2項に関して必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(職員)

第21条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

2 職員は、理事長が任免する。

## 第5章 総 会

(種別)

第22条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第23条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第24条 総会は、以下の事項について議決する。

(1) 定款の変更

(2) 解散

(3) 合併

(4) 事業計画及び活動予算並びにその変更

(5) 事業報告及び活動決算

(6) その他運営に関する重要事項

(開催)

第25条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。

(2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(3) 第15条第5項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

第26条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から14日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は、電子メールをもって、少なくとも総会の日の5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第27条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第28条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第29条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 理事又は正会員が総会の目的である事項について提案した場合において、正会員の全員が書面もしくは電磁的方法により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(表決権等)

第30条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面もしくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、第28条、前条第2項、次条第1項第2号及び第50条の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることはできない。

(議事録)

第31条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 正会員総数及び出席者数（書面もしくは電磁的方法表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が記名、押印しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、正会員全員が書面により同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 総会があったものとみなされた事項の内容

(2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称

(3) 総会の決議があったものとみなされた日

(4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

## 第6章 理 事 会

(構成)

第32条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第33条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会の議決した事項の執行に関する事項

(3) 役員の選任又は解任、職務及び報酬

(4) 入会金及び会費の額

(5) 借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄

(6) 事務局の組織及び運営

(7) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(開催)

第34条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面又は、電子メールをもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第5項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第35条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から20日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電子メールをもって、少なくとも理事会の日の5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第36条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

第37条 理事会における議決事項は、第35条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第38条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は、電磁的方法をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条第2項及び次条第1項第2号の適用については、理事会に出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることはできない。

(議事録)

第39条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
  - (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること。）
  - (3) 審議事項
  - (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (5) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が記名、押印しなければならない。

## 第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第40条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立の時の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の管理)

第41条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第42条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行うものとする。

(事業計画及び予算)

第43条 この法人の事業計画及びこれに伴う活動予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第44条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第45条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第46条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第47条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第48条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(臨機の措置)

第49条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

## 第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第50条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経かつ、法第25条第3項に規定する以下の事項を変更する場合、所轄庁の認証を得なければならない。

- (1) 目的
- (2) 名称
- (3) その行う特定非営利活動の種類及び当該特定非営利活動に係る事業の種類
- (4) 主たる事務所及びその他の事務所の所在地（所轄庁の変更を伴うものに限る。）
- (5) 社員の資格の得喪に関する事項
- (6) 役員に関する事項（定数に係るものを除く。）
- (7) 会議に関する事項
- (8) その他の事業を行う場合における、その種類その他当該その他の事業に関する事項
- (9) 解散に関する事項（残余財産の帰属すべき者に係るものに限る。）
- (10) 定款の変更に関する事項

(解散)

第51条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
  - (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
  - (3) 正会員の欠亡
  - (4) 合併
  - (5) 破産手続開始の決定
  - (6) 所轄庁による設立の認証の取消し
- 2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。
- 3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第52条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに残余する財産は、法第

11条第3項に掲げる者のうち、解散時の総会において議決した者に譲渡するものとする。

(合併)

第53条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

## 第9章 公告の方法

(公告の方法)

第54条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに官報に掲載して行う。但し、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、内閣府NPO法人ポータルサイト（法人入力情報欄）に掲載して行う。

## 第10章 雑 則

(細則)

第55条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

(文章の保管)

第56条 この法人は以下の文章の備え置き期間を5年以上とする。

- (1) 各年度の事業報告書等
- (2) 総会資料等
- (3) 理事会資料等
- (4) 理事報酬規程等
- (5) 理事会にて保管すると定めた文章

## 附 則

1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。

2 この法人の設立当初の役員は、次に掲げる者とする。

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 理事長 | 伊藤  | 家生  |
| 理 事 | 市村  | みみこ |
| 同   | 隅田  | 浩美  |
| 同   | 平松  | 弥生  |
| 同   | 北村  | ゆか  |
| 監 事 | 田之原 | 晴湖  |

3 この法人の設立当初の役員の任期は、第16条第1項の規定にかかわらず、成立の日から平成29年3月31日までとする。

4 この法人の設立当初の事業計画及び活動予算は、第44条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。

5 この法人の設立当初の事業年度は、第49条の規定にかかわらず、成立の日から平成28年3月31日までとする。

6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

- |           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| (1) 正 会 員 | 入会金 | 2,000円 |
|           | 年会費 | 3,000円 |
| (2) 賛助 会員 | 年会費 | 1,000円 |
| (3) 一般 会員 | 年会費 | 1,000円 |
| (4) 学生 会員 | 年会費 | 500円   |

### 7 定款の変更

(1) 第9章広告の方法 官報に掲載して行う→電子公告（内閣府ポータルサイト含む）へ変更  
この定款は平成29年1月9日より施行するものとする。

(2) 第2章事業（事業）④ 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業を追加変更

# 令和8年度事業計画書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

特定非営利活動法人ほっとはあと

## 1 事業実施の方針

子育ての困り感のひとつである、子どもの預かりについて、本年度は小規模認可保育園および乳児通園事業へ参入し、預け先問題の解消に努め、養育者の負担感の軽減を図る。また、乳児の集団生活体験を促進し乳幼児の健全な育成に寄与する。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名               | 事業内容                 | 実施予定<br>日 時            | 実施予定<br>場 所                            | 従事者の<br>予定人数 | 受益対象者の<br>範囲及び<br>予定人数                                                                            | 支 出<br>見込額<br>(千円) |
|----------------------|----------------------|------------------------|----------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 子育て支援拠点事業            | 子育てつどいのひろば<br>事業     | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 山手保健セン<br>ター                           | 6名           | おおむね0～3歳まで<br>の子育て中の親子<br>延べ人数8750名                                                               | 9786               |
| 障害児通所事業              | 児童発達支援<br>放課後等デイサービス | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 児童発達支援事<br>業所<br><br>ていんくる<br><br>たんぼぼ | 16名          | 1 受給者証を持つ就<br>学前児童 32名<br><br>2 受給者証を持つ小<br>学1年生から18歳まで<br>の児童 69名<br><br>3 受給者証を持つ<br>訪問支援の児童 9名 | 59957              |
| 発達障害に<br>関する啓発<br>事業 | 児童発達支援<br>放課後等デイサービス | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 児童発達支援事<br>業所<br><br>ていんくる<br>たんぼぼ     | 16名          | ていんくる<br>たんぼぼの見学者<br>50名<br>高校の介護士養成講<br>座の講師 8名<br>すくすく相談者<br>延べ20名                              | 0                  |

|                                        |                              |                        |          |     |                    |            |
|----------------------------------------|------------------------------|------------------------|----------|-----|--------------------|------------|
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業 | 小規模認可保育園                     | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 彩 保育園    | 13名 | 0-3歳未満の児童<br>9名    | 1<br>36000 |
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業 | 未就園の0-3歳未満の児童の10時間/月を上限とした託児 | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 彩保育園     | 5名  | 0-3歳未満の児童<br>延べ40名 | 450        |
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制（誰でも通園制度）事業  | 日曜祝日における一時的な託児               | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 山手保健センター | 6名  | 0-6歳までの児童<br>延べ20名 | 2,500      |
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制（誰でも通園制度）事業  | 0-6歳までの児童の一時的な託児             | 令和8年4月1日～<br>令和9年3月31日 | 彩保育園     | 6名  | 0-6歳までの児童<br>延べ20名 | 1200       |
| その他の目的を達成するための事業                       | 未定                           | 実施予定なし                 |          |     |                    |            |

計 109,893,000

# 令和9年度事業計画書

令和9年4月1日～令和10年3月31日まで

特定非営利活動法人ほっとはあと

## 1 事業実施の方針

小規模認可保育園の事業及び休日保育事業の充実と乳児通園制度の拡充に向けての取り組みを行い、保育事業と小集団への在宅乳幼児の参加を促し、保護者の孤立感の解消を図る。また、乳児が他児と関わる事により、3歳以降の集団参加へのハードルを下げる事が出来るよう支援する。児童発達支援を含めた、子育ての困り感への解消に向けた支援の充実を図りたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名       | 事業内容                 | 実施予定<br>日 時             | 実施予定<br>場 所                | 従事者の<br>予定人数 | 受益対象者の<br>範囲及び<br>予定人数                                                    | 支 出<br>見込額<br>(千円) |
|--------------|----------------------|-------------------------|----------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 子育て支援拠点事業    | 子育てつどいのひろば事業         | 令和9年4月1日～<br>令和10年3月31日 | 山手保健センター                   | 6名           | おおむね0～3歳までの子育て中の親子<br>延べ8500名                                             | 9786               |
| 障害児通所事業      | 児童発達支援<br>放課後等デイサービス | 令和9年4月1日～<br>令和10年3月31日 | 児童発達支援事業所<br>ていんくる<br>たんぼぼ | 16名          | 1 受給者証を持つ就学前児童 50名<br>2 受給者証を持つ小学1年生から18歳までの児童 69名<br>3 受給者証を持つ訪問支援の児童 9名 | 59487              |
| 発達障害に関する啓発事業 | 児童発達支援<br>放課後等デイサービス | 令和9年4月1日～<br>令和10年3月31日 | 児童発達支援事業所<br>ていんくる<br>たんぼぼ | 6名           | ていんくる<br>たんぼぼへの見学者 60名<br>高校の介護士養成講座の講師 8名<br>すくすく相談者<br>延べ25名            | 0                  |

|                                        |                              |                     |          |     |                     |       |
|----------------------------------------|------------------------------|---------------------|----------|-----|---------------------|-------|
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業 | 小規模認可保育園                     | 令和9年4月1日～令和10年3月31日 | 彩 保育園    | 13名 | 0-3歳未満の児童<br>19名    | 40800 |
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業 | 未就園の0-3歳未満の児童の10時間/月を上限とした託児 | 令和9年4月1日～令和10年3月31日 | 彩保育園     | 5名  | 0-3歳未満の児童<br>延べ40名  | 720   |
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制度（誰でも通園制度）事業 | 日曜祝日における一時的な託児               | 令和9年4月1日～令和10年3月31日 | 山手保健センター | 6名  | 0-6歳までの児童<br>延べ 20名 | 2500  |
| 保育園事業・一時預かり事業・休日保育事業・乳児通園制（誰でも通園制度）事業  | 0-6歳までの児童の一時的な託児             | 令和9年4月1日～令和10年3月31日 | 彩保育園     | 6名  | 0-6歳までの児童<br>延べ20名  | 600   |
| その他目的を達成するための事業                        | 未定                           | 実施予定なし              |          |     |                     |       |

計 113,893,000

令和8年度 活動予算書  
2026年4月1日から2027年3月31日まで

特定非営利活動法人ほっとはあと  
(単位：円)

| 科目          | 金額         |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| I 経常収益      |            |             |             |
| 1. 受取会費     |            |             |             |
| 正会員受取会費     | 72,000     |             |             |
| 賛助会員受取会費    | 0          |             |             |
| .....       | 0          | 72,000      |             |
| 2. 受取寄附金    |            |             |             |
| 受取寄附金       | 0          |             |             |
| 施設等受入評価益    | 0          |             |             |
| .....       | 0          | 0           |             |
| 3. 受取助成金等   |            |             |             |
| 受取助成金       | 600,000    |             |             |
| .....       | 0          | 600,000     |             |
| 4. 事業収益     |            |             |             |
| 障害児事業収益     | 66,500,000 |             |             |
| 子育て支援事業収益   | 9,786,100  |             |             |
| 休日保育事業収益    | 2,500,000  |             |             |
| 小規模認可保育事業収益 | 36,000,000 |             |             |
| 一時預かり事業収益   | 900,000    |             |             |
| 乳児通園制度事業収益  | 540,000    | 116,226,100 |             |
| 5. その他収益    |            |             |             |
| 受取利息        | 12,484     |             |             |
| 雑収益         | 100,000    |             |             |
| .....       | 0          | 112,484     |             |
| 経常収益計       |            |             | 117,010,584 |
| II 経常費用     |            |             |             |
| 1. 事業費      |            |             |             |
| (1) 人件費     |            |             |             |
| 給料手当        | 71,208,000 |             |             |
| 法定福利費       | 7,000,000  |             |             |
| 福利厚生費       | 500,000    |             |             |
| 賞与          | 10,000,000 |             |             |
| 人件費計        | 88,708,000 |             |             |
| (2) その他経費   |            |             |             |
| 謝金          | 300,000    |             |             |
| 会議費         | 50,000     |             |             |
| 交際費         | 50,000     |             |             |
| 旅費交通費       | 140,000    |             |             |
| 車両費         | 1,300,000  |             |             |
| 消耗品費        | 3,300,000  |             |             |
| 修繕費         | 25,000     |             |             |
| 水道光熱費       | 500,000    |             |             |
| 地代家賃        | 5,320,000  |             |             |
| 諸会費         | 200,000    |             |             |
| 租税公課        | 700,000    |             |             |
| 研修費         | 550,000    |             |             |
| 支払い手数料      | 40,000     |             |             |
| 雑費          | 3,500,000  |             |             |
| 給食費         | 800,000    |             |             |
| 通信費         | 1,500,000  |             |             |
| リース料        | 1,800,000  |             |             |
| 支払い保険料      | 500,000    |             |             |
| 書籍費         | 100,000    |             |             |
| 広告宣伝費       | 360,000    |             |             |
| 保健衛生費       | 50,000     |             |             |
| 保育材料費       | 100,000    |             |             |
| その他経費計      | 21,185,000 |             |             |
| 事業費計        |            | 109,893,000 |             |
| 2. 管理費      |            |             |             |

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

△ × × ×

令和9年度 活動予算書  
2027年4月1日から2028年3月31日まで

特定非営利活動法人ほっとはあと  
(単位: 円)

| 科目          | 金額         |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| I 経常収益      |            |             |             |
| 1. 受取会費     |            |             |             |
| 正会員受取会費     | 72,000     |             |             |
| 賛助会員受取会費    | 0          |             |             |
| .....       | 0          | 72,000      |             |
| 2. 受取寄附金    |            |             |             |
| 受取寄附金       | 0          |             |             |
| 施設等受入評価益    | 0          |             |             |
| .....       | 0          | 0           |             |
| 3. 受取助成金等   |            |             |             |
| 受取助成金       | 600,000    |             |             |
| .....       | 0          | 600,000     |             |
| 4. 事業収益     |            |             |             |
| 障害児事業収益     | 65,500,000 |             |             |
| 子育て支援事業収益   | 9,786,100  |             |             |
| 休日保育事業収益    | 2,500,000  |             |             |
| 小規模認可保育事業収益 | 40,800,000 |             |             |
| 一時預かり事業収益   | 450,000    |             |             |
| 乳児通園制度事業収益  | 720,000    | 119,756,100 |             |
| 5. その他収益    |            |             |             |
| 受取利息        | 12,484     |             |             |
| 雑収益         | 100,000    |             |             |
| .....       | 0          | 112,484     |             |
| 経常収益計       |            |             | 120,540,584 |
| II 経常費用     |            |             |             |
| 1. 事業費      |            |             |             |
| (1) 人件費     |            |             |             |
| 給料手当        | 74,208,000 |             |             |
| 法定福利費       | 7,000,000  |             |             |
| 福利厚生費       | 500,000    |             |             |
| 賞与          | 11,000,000 |             |             |
| 人件費計        | 92,708,000 |             |             |
| (2) その他経費   |            |             |             |
| 謝金          | 300,000    |             |             |
| 会議費         | 50,000     |             |             |
| 交際費         | 50,000     |             |             |
| 旅費交通費       | 140,000    |             |             |
| 車両費         | 1,300,000  |             |             |
| 消耗品費        | 3,300,000  |             |             |
| 修繕費         | 25,000     |             |             |
| 水道光熱費       | 500,000    |             |             |
| 地代家賃        | 5,320,000  |             |             |
| 諸会費         | 200,000    |             |             |
| 租税公課        | 700,000    |             |             |
| 研修費         | 550,000    |             |             |
| 支払い手数料      | 40,000     |             |             |
| 雑費          | 3,500,000  |             |             |
| 給食費         | 800,000    |             |             |
| 通信費         | 1,500,000  |             |             |
| リース料        | 1,800,000  |             |             |
| 支払い保険料      | 500,000    |             |             |
| 書籍費         | 100,000    |             |             |
| 広告宣伝費       | 360,000    |             |             |
| 保健衛生費       | 50,000     |             |             |
| 保育材料費       | 100,000    |             |             |
| その他経費計      | 21,185,000 |             |             |
| 事業費計        |            | 113,893,000 |             |
| 2. 管理費      |            |             |             |

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

△ × × ×